

14 番（小川義昭議員）

11 点目の質問です。

本市の温室効果ガスの総排出量について、基準年度 1990 年度の二酸化炭素排出量が、2011 年 7 月に策定された第 1 期計画では 65 万 3,900 トンとなっていますが、今回の第 2 期計画では、なぜかこの数値が 63 万 8,000 トンと記載され、1 万 5,900 トン減少した数値に変わっています。

この 2 つの数値にそこがありますが、どうしてなのか。また、どちらの数値が正しいのでしょうかお伺いいたします。

2 点目、2011 年策定の今ほど申しました第 1 期計画では、二酸化炭素排出量を 2020 年度までに基準年度 1990 年の 65 万 3,900 トンから 10%減の 58 万 8,500 トンとする中期目標が設定されました。

ところが、第 2 期計画書においては、2020 年度の二酸化炭素排出量が第 1 期計画の目標値 58 万 8,500 トンどころか、127 万 4,000 トンと 68 万 5,500 トンも増加しており、10 年間で 10%の減少どころか、2 倍以上に跳ね上がる数値となっています。

第 1 期計画書には、目標の達成に向けて白山市地球温暖化対策地域協議会や白山市環境審議会などで計画の進捗状況の検証や必要な見直しの検討を行うと明記されていますが、果たしてこの 10 年間で、その機能は果たされてきたのでしょうか。また、どうしてこのような結果となったのでしょうか。市御当局はこの現実をどのように受け止めておられるのでしょうか、見解をお伺いいたします。